

## エアコンの正しい使い方



梅雨時期、暑くてじめっとした毎日。何とか快適に過ごしたいですね？最近Facebookで読んだ中でご紹介したい記事がありましたので掲載します。【原文・Facebook・松尾和也氏・5月26日の記事より。本掲載に関して、御本人の了承を得ております。】

梅雨入（6月10日頃）から梅雨明け（7月20日頃）までは再熱除湿、梅雨明けから9月末までは冷房運転を切らずにずっと続けることが健康・快適性の両面で理想的であると確信しています。

この3ヶ月半ほどの間は相対湿度が全国的に70%を超えます。70%を超えるということは、エアコン等で除湿しない限り、通風していても外気自体が湿りまくっているのです。（難しく言うと絶対湿度18g以上になっています。日本人は13gを超えると蒸し暑さを感じやすい）

それだけなら我慢の話ですが、この状態が続くとカビ天国になります。カビが最も生えやすいのは温度は28.9℃あたり、湿度は高いほどカビにとっては良いという感じです。

カビはまだ可愛い方で、ダニに関しては60%を超えたところから加速度的に増えていきます。

よって、快適性だけではなく健康、衛生面を考えるとエアコンによる除湿、冷房は必須の時期と言えます。特に梅雨時期は外で洗濯物を干せないということで部屋干しする人が続出します。これは除湿しないといけないところに大型の気化式加湿器を設置しているのと同じ行為です。

これをクリアするためには欧米のようにガスの洗濯乾燥機である乾太くんが本来日本の家庭には必須になります。乾太くんがあれば、仮にダニが発生しても60℃以上の熱ですぐに殺すことができますが、高温以外に対してはダニは恐ろしく強靱な生き物です。

天日干し、洗濯、レイコップ・・・何をやってもまず死にません。

さらに重要なポイント・・・

それは冷房でオン・オフを繰り返すと、オフにしたとき、中で水分がたまりまくっているのに風はピタッと止まる状況になってしまうということ、当然20分もしないうちにカビにとっては最高の環境ができあがってしまいます。この観点から考えても常時つけっぱなしの方が理想的です。

きちんと断熱、日射遮蔽をした住宅であれば、太陽光発電に頼らなくても8月の24時間一ヶ月間の冷房費用が4000円前後になることがほとんどです。太陽光をつけていれば、こんな金額一瞬でチャラになります。

## 40周年記念イベント

今年で弊社も40周年になりました。今までお世話になったお客様には本当に感謝です。

現在モデルハウスを始め3タイプのお住まいをご覧いただけるイベントを行っております。今までご覧になったことのない方はもちろん、一度ご覧になられた方もご友人と一緒においで下さい。

お待ちしております



6月はK様のお住まい「人を招きたくなる家」の見学会を行いました。すでにお住まいになられているお家の見学会です。K様ご協力ありがとうございました。  
建物の形や間取りの面白さが個性なお家ですので、ホームページの施工例などで後日ご紹介したいと思います。



代表 笹崎辰裕より  
今月のつぶやき

## 梅雨に思うこと



6月初めのスコールが激しい日に原稿を書いていました。強い雨音を聞くたびに、最近は気象まで変わってきたのかと感じます。住宅業界も建物の強さに求められること、建物の環境に求められることが年々厳しくなっています。お客様にとってはより良い住まいになるので良い事ですね。

現在PCを使うと強度も、燃費も計算されます。私共も工事を始める前に、可能な限り目に見える形で提示していくことが必要です。

私には現在中学2年生の長男、小学6年生の長女、保育園年長組の次女がいます。彼らにもわかるように説明できるのが目標です。次女のハードルが高そうですが。